

## 【立川市】胃がん検診 平成26年度プロセス指標等一覧シート

## &lt;国の指針に基づく胃がん検診の実施状況&gt;

対象年齢(40歳以上)	している
検査方法(胃部X線検査)	している

## &lt;住民の検診受診状況&gt;

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口	48,858	51,990	100,848
【東京都調査による対象者率(市町村部): 57.8%】			
実際の受診者数	738	1,098	1,836

## &lt;国の指針に基づくもの以外の実施状況&gt;

対象年齢以外の実施	35～39歳
左記以外の検査の実施	していない

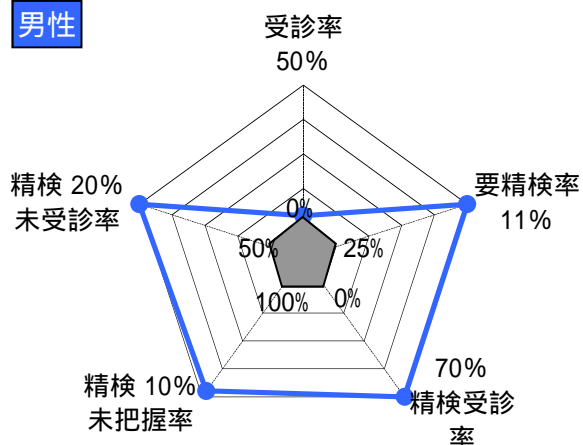
## &lt;区市町村の受診率向上(精検含む)体制&gt;

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	していない
過去3年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	している

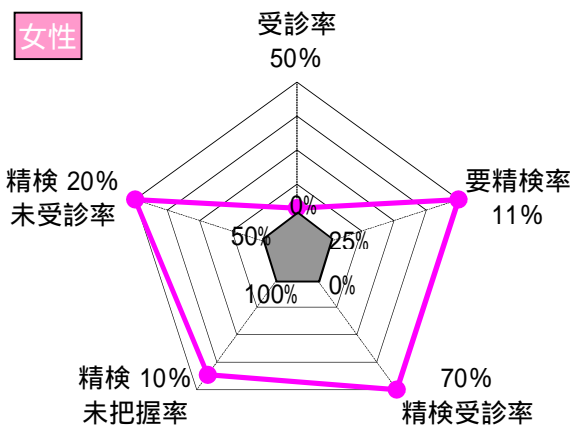
## &lt;がん検診の質を評価する指標(プロセス指標)&gt;

	あるべき値 (許容値等)	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%	2.6%	3.7%	3.1%
要精検率	11%以下	9.2%	4.9%	6.6%
精検受診率	70%以上	79.4%	75.9%	77.9%
精検未把握率	10%以下	14.7%	22.2%	18.0%
精検未受診率	20%以下	5.9%	1.9%	4.1%
陽性反応適中度	1.0%以上	1.5%	0.0%	0.8%
がん発見率	0.11%以上	0.14%	0.00%	0.05%

## 男性



## 女性



## 【評価結果】

## &lt;受診率&gt;

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

## &lt;精検未把握率&gt;

精検未把握率が許容値達成まであと一歩です。自治体が行う対策型検診として、事業評価のために『要精検』となった方々のその後の状況把握を進めましょう。

## 【立川市】 肺がん検診 平成26年度プロセス指標等一覧シート

## &lt;国の指針に基づく肺がん検診の実施状況&gt;

対象年齢(40歳以上)	している
検査方法(胸部X線検査及び喀痰細胞診)	している

## &lt;住民の検診受診状況&gt;

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口	48,858	51,990	100,848
【東京都調査による対象者率(市町村部): 64.5%】			
実際の受診者数	401	552	953

## &lt;国の指針に基づくもの以外の実施状況&gt;

対象年齢以外の実施	35～39歳
左記以外の検査の実施	していない

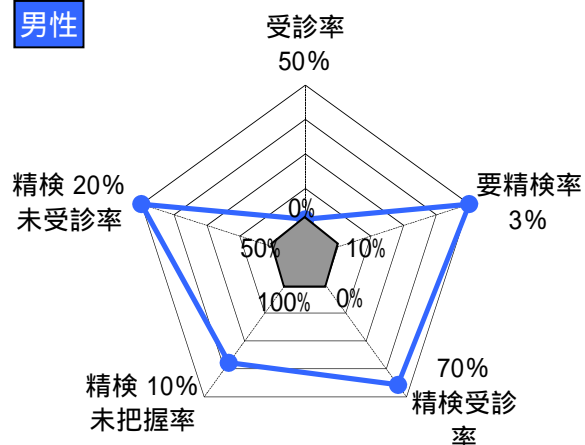
## &lt;区市町村の受診率向上(精検含む)体制&gt;

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	していない
過去3年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	している

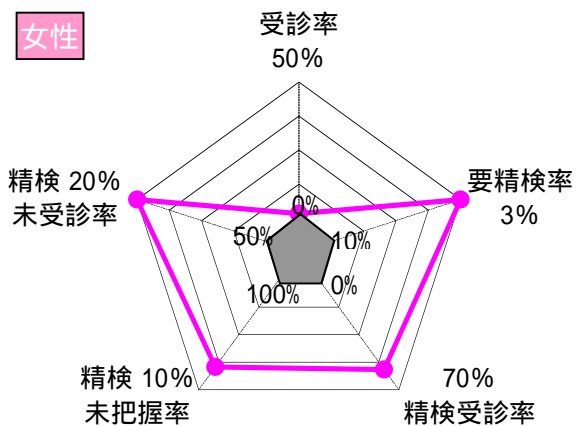
## &lt;がん検診の質を評価する指標(プロセス指標)&gt;

	あるべき値 (許容値等)	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%	1.3%	1.6%	1.5%
要精検率	3%以下	2.0%	1.3%	1.6%
精検受診率	70%以上	62.5%	57.1%	60.0%
精検未把握率	10%以下	37.5%	28.6%	33.3%
精検未受診率	20%以下	0.0%	14.3%	6.7%
陽性反応適中度	1.3%以上	0.0%	0.0%	0.0%
がん発見率	0.03%以上	0.00%	0.00%	0.00%

## 男性



## 女性



## 【評価結果】

## &lt;受診率&gt;

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

## &lt;精検受診率&gt;

まずは許容値以上となるように、精検受診勧奨を行ってください。

## &lt;精検未把握率&gt;

高めの精検未把握率です。自治体が行う対策型検診として、事業評価のために『要精検』となった方々のその後の状況把握が必要です。

## 【立川市】大腸がん検診 平成26年度プロセス指標等一覧シート

## &lt;国の指針に基づく大腸がん検診の実施状況&gt;

対象年齢(40歳以上)	している
検査方法(便潜血検査(二日法))	している

## &lt;住民の検診受診状況&gt;

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口	48,858	51,990	100,848
【東京都調査による対象者率(市町村部): 62.0%】			
実際の受診者数	5,853	9,424	15,277

## &lt;国の指針に基づくもの以外の実施状況&gt;

対象年齢以外の実施	35～39歳
左記以外の検査の実施	していない

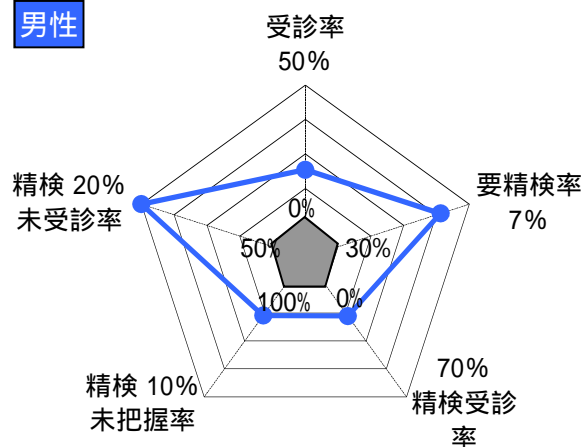
## &lt;区市町村の受診率向上(精検含む)体制&gt;

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	一部該当
過去3年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	している

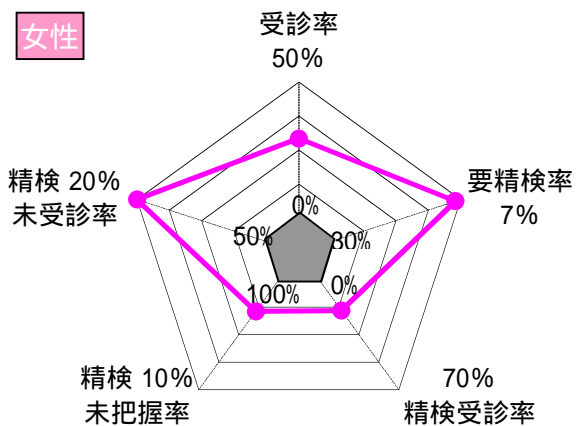
## &lt;がん検診の質を評価する指標(プロセス指標)&gt;

	あるべき値 (許容値等)	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%	19.3%	29.2%	24.4%
要精検率	7%以下	12.0%	7.9%	9.5%
精検受診率	70%以上	19.3%	19.8%	19.5%
精検未把握率	10%以下	75.6%	74.1%	74.8%
精検未受診率	20%以下	5.1%	6.2%	5.7%
陽性反応適中度	1.9%以上	1.3%	1.1%	1.2%
がん発見率	0.13%以上	0.15%	0.08%	0.11%

## 男性



## 女性



## 【評価結果】

## &lt;受診率&gt;

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

## &lt;要精検率&gt;

要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方(偽陽性)の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

## &lt;精検受診率&gt;

まずは許容値以上となるように、精検受診勧奨を行ってください。

## &lt;精検未把握率&gt;

精検結果が把握されておらず、自治体が行う対策型検診としての事業評価が困難です。『がん検診精度管理向上の手引き』等を参考にして問題点を整理し、早急に精密検査結果を把握できる体制を検討してください。

## 【立川市】子宮頸がん検診 平成26年度プロセス指標等一覧シート

## &lt;国の指針に基づく子宮頸がん検診の実施状況&gt;

対象年齢(20歳以上:隔年)	している
検査方法(細胞診)	している

## &lt;住民の検診受診状況&gt;

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口		74,379	
【東京都調査による対象者率(市町村部):67.1%】			
実際の受診者数		3,541	

## &lt;国の指針に基づくもの以外の実施状況&gt;

対象年齢以外の実施	していない
左記以外の検査の実施	していない

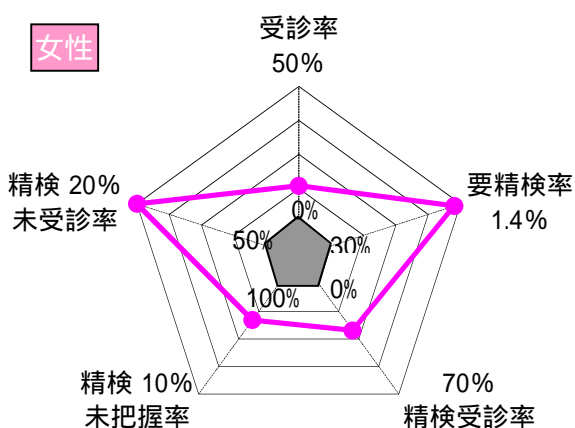
## &lt;区市町村の受診率向上(精検含む)体制&gt;

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	一部該当
過去3年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	していない

## &lt;がん検診の質を評価する指標(プロセス指標)&gt;

	あるべき値 (許容値等)	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%		13.5%	
要精検率	1.4%以下		2.8%	
精検受診率	70%以上		29.6%	
精検未把握率	10%以下		70.4%	
精検未受診率	20%以下		0.0%	
陽性反応適中度	4.0%以上		1.0%	
がん発見率	0.05%以上		0.03%	

## 【評価結果】



## &lt;受診率&gt;

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

## &lt;要精検率&gt;

要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方(偽陽性)の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

## &lt;精検受診率&gt;

まずは許容値以上となるように、精検受診勧奨を行ってください。

## &lt;精検未把握率&gt;

精検結果が把握されておらず、自治体が行う対策型検診としての事業評価が困難です。『がん検診精度管理向上の手引き』等を参考にして問題点を整理し、早急に精密検査結果を把握できる体制を検討してください。

## 【立川市】乳がん検診 平成26年度プロセス指標等一覧シート

## &lt;国の指針に基づく乳がん検診の実施状況&gt;

対象年齢(40歳以上:隔年)	している
検査方法(視触診及びマンモグラフィ)	している

## &lt;住民の検診受診状況&gt;

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口		51,990	
【東京都調査による対象者率(市町村部):73.1%】			
実際の受診者数		3,571	

## &lt;国の指針に基づくもの以外の実施状況&gt;

対象年齢以外の実施	していない
左記以外の検査の実施	していない

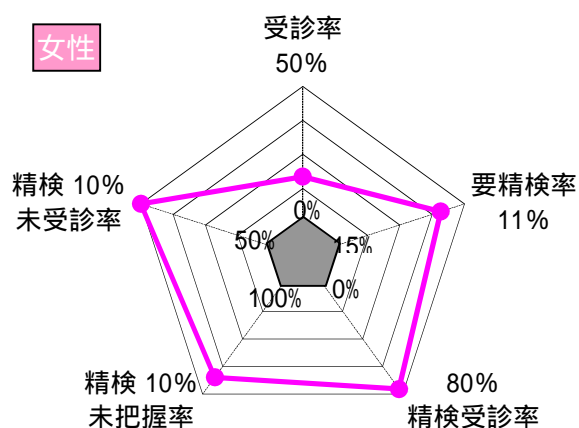
## &lt;区市町村の受診率向上(精検含む)体制&gt;

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	一部該当
過去3年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	している

## &lt;がん検診の質を評価する指標(プロセス指標)&gt;

	あるべき値 (許容値等)	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%		16.8%	
要精検率	11%以下		11.7%	
精検受診率	80%以上		76.4%	
精検未把握率	10%以下		23.6%	
精検未受診率	10%以下		0.0%	
陽性反応適中度	2.5%以上		2.4%	
がん発見率	0.23%以上		0.28%	

## 【評価結果】



## &lt;受診率&gt;

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

## &lt;要精検率&gt;

要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方(偽陽性)の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

## &lt;精検受診率&gt;

まずは許容値以上となるように、精検受診勧奨を行ってください。

## &lt;精検未把握率&gt;

高めの精検未把握率です。自治体が行う対策型検診として、事業評価のために『要精検』となった方々のその後の状況把握が必要です。